

広報

# くにみ

9

1998

平成10年9月15日……………No.303

目次

|                |    |
|----------------|----|
| 【特集】'98豪雨…………… | 2  |
| 小中学生交流事業……………  | 12 |
| いんふおめ〜しょん…………… | 19 |



8月26日から6日間降り続いた豪雨は、国見町に大きなつめ跡を残しました。30日には、阿武隈川の水位が6メートルを越え、堤防決壊も心配される事態が発生しました。

田畑の冠水、住宅への浸水、土砂崩れ。特に農業被害は、昭和61年の8・5水害を上回る規模となりました。

## 不安な6日間

# 28 豪雨

八月二十六日から北関東や南東北を襲った豪雨は、その後北日本や首都圏など幅広い範囲にまで広がった。

国見町でも、二十七日午後七時に「国見町水防本部」を設置し、警戒にあたった。午後九時十五分、阿武隈川支流の佐久間川が逆流し、徳江・前原地区に流入したものの、二十八日午後二時五十分には、洪水警報が継続されたまま、大雨警報は解除された。

その後、二十九日午前七時四十五分には、阿武隈川の水位が一・七二メートルにまで下がるなど小康状態が続いたが、東日本一帯にかかる前線は、中型で強い台風四号の接近で刺激され、再び雨足が強まり、二十九日午後二時三十分には、前日に解除された大雨警報が再度発令された。そして三十日午前四時十分には川内・新割地区の住民が、続いて午前五時三十分には徳江・前原地区の住民が、それぞれ自主避難を始めた。

町では、午前六時に町水防本部を「災害対策本部」に移行し、即応体制を整えた。その後も阿武隈川の水位は上がり続け、午前八時二十分、建設省福島工事事務所長から「阿武隈川と滝川の合流付近、新割地区の堤防二百五十メートルが決壊する恐れがある」との連絡が入り、町では消防団員と町職員を現地に急行させた。さらに、町では午前九時三十分、自衛隊の派遣を要請。午前十二時三十分には、自衛隊の三十人が徳江クラウンドに集結、全力で堤防の補強活動を進めた。

しかし、再度、建設省福島工事事務所長から「堤防に亀裂が

# 堤防に亀裂が走り、 不気味に揺れた



入り、ろう水も一段と激しくなった。振動もし始め、決壊は時間の問題である」との連絡が入った。

このため、町では午前十一時十五分、阿武隈川と滝川の流域で水防活動をしてきた消防団と協力業者、町職員全員に撤収命令を、そして川内地区の全住民と、浸水が激しくなった徳江浄水場、浄化センター付近の住民と作業をしていた職員、協力業者全員に避難勧告を発令した。

また、避難勧告の後、排水能力を超える激しい水の流入と施設内へのおびただしい浸水の中、排水活動を続けていた大枝湛水防除施設班も緊急避難した。

避難勧告が発令されてから九十分後の午後十二時四十五分、阿武隈川はこれまでで最高の水位（六・〇七メートル）に達した。

堤防決壊という最悪の事態が予想される緊迫した状態がその後しばらく続いたが、午後五時ごろから阿武隈川の水位が徐々に下がり始め、四・五メートルを下回った三十一日午前七時三十分以降、前原地区の住民と川内地区の全住民に出されていた避難勧告を解除するとともに、自衛隊の派遣要請も解除した。

救援や復旧活動にあたった団体は、町消防団や町建設業協会、町管工事組合、電気関係業者、大枝と徳江地区のそれぞれの婦人会、自衛隊、町職員などで、その述べ人数は一千六百二十五人に達した。

今回の豪雨による被害は、床上浸水が八世帯、床下浸水が十七世帯、土砂崩れ二十か所、冠水した田畑は七十八・五畝、堤防の一部崩落などの河川被害が五か所、越水したため池が三か所、そして道路の通行止めが二十か所にも及び、八日現在での被害総額は、六千七百九十二万九千円に上った。町では、見舞金や農業・土木の災害復旧費、農業災害対策事業の補助金など、総額二千三百九十万三千円の一般会計補正予算案を九月議会に提出した。

# 水防



町消防団第四分団長 鈴木 正夫さん

町消防団の第四分団は、大枝地区を管轄し、今回の豪雨では、災害対策本部の下で阿武隈川と滝川の防水任務、地区住民の安全確保と避難誘導にあたりました。「豪雨の六日間を改めて振り返ってみると、四分団の二十八人と応援に駆け付けてくれた五分団の二十二人は、駆付け任務をよく理解し、行動し、結果したと思います。また、昭和六十一年の八・五水害を経験した団員が、分団の幹部として後輩の指導にあたってくれました。堤防のろう水箇所の発見と対応など、彼らの経験と意見がとても貴重でした」と、分団長の鈴木正夫さん。

「長引くことを予想し、当初は最小限の人員で対応することを考えていましたが、二十八日に阿武隈川堤防のろう水を発見したため、全団員の出動となりました。」

私たちの地域は阿武隈川と滝川に囲まれています。特に、川内地区は低い場所に人家と田畑が集中しています。水害が発生した場合には、住民の人的被害と川内地区の孤立が考えられますから、これを防ぐために、昼夜問わずのバトロールを続けました。」

## 責任と厳しさ

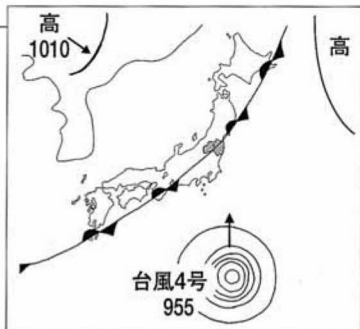
「万一に備え、町の災害対策本部からの住民避難の連絡については、町内会の班長を通して徹底することなどを町内会長と相談していました。それでも、堤防決壊の恐れあり、と聞いたときは、これまでになく緊張しました。」

決壊が予想される緊迫した中で、懸命に水と闘った団員たち。自宅が浸水しても現場を離れず、家財道具一つ運び出せなかった団員もいました。住民と団員が無事に避難、自衛隊までもが撤収した堤防を見つめながら、「消防団に課せられた任務は住民の安全確保であることは言うまでもないことですが、それと同じくらい、団員たちの安全確保も大事なことです。警備と危険は背中合わせ。指揮命令する厳しさを味わいました。」

## 妻

「ほとんど警備本部に詰めていました。帰ってきて来ても、すぐ本部へ戻る、という毎日でした。心配で心配で、仕事を手につきませんでした」と、じつとかたわらで聞いていた章子さん。初めて聞く夫の話に、涙で目が潤んでいました。」

## 29日の天気図(15時現在)



八月二十六日から、停滞する前線と台風とが互いに刺激しあって、梅雨末期のような集中豪雨が降っていました。

二十五日に発生した台風四号は、二十九日午後六時現在、父島の北西をゆっくりと北に進んでいて、中心気圧は九五五ヘクトパスカル、最大風速は四十キロ、中心から半径百五十キロ以内では風速二十五以上の暴風となっています。

二十九日の天気を見てみると、動きが遅い台風四号と、太平洋上の高気圧との間の等圧線は、ほぼ南北にのび、熱帯の暖かく湿った気流が日本列島に流れ込みやすくなっていました。東日本から北の地域では一時間に二十キロ以上の豪雨が降りやすい気象状態で、気象庁では、より激しい豪雨への警戒と強風への注意が必要だと発表しています。」

# 農業



町認定農業者 鈴木 文雄さん

「およそ十年」ごと田畑に水が上がるのは、何ともやりきれない。水につかったモモの葉は、みんな枯れてしまった。枝だって、ほらこの通り。枯れるのも時間の問題だろうなあ」と、心配そうにモモを見上げる鈴木文雄さん。

今回の豪雨で、鈴木さんのモモ畑七十五畝のうち、五十畝が水につかりました。中でも最も被害がひどかった二十五畝のモモ畑は、人の背丈ほどの水につかってしまいました。モモの木は二色に塗りわたされたよう。水につかった葉は茶色、免れた葉はみずみずしい緑色。

「この畑のモモは、昭和六十一年の八・五水害の後に植え替えたもの。ポカシを入れたり、経費と手間をかけて、愛情いっぱい注いで育ててきたんだ。ようやく、立派なモモになってくれたのになあ。特

に、今年は天気が悪かったのに、質も量も申し分ない実をつけてくれた木ばかりなんだ。かわいそうに」

## 木を助けない

今回、大きな被害を受けた大枝地区は、果樹生産が盛んな土地柄です。とりわけ、町の代表的なくだもの、モモは大枝地区の農家にとっても大きな比重を占める果樹です。

「畑を見ると、作業の意欲が消えてしまっている。シヨツクだな。今は、来年の花芽をつける大事な時期なんだけど、どうなるか」。最悪の場合は、下枝を落とすしかない。でも、起こってしまったことはしょうがない。すぐに肥やしをやって、秋季防除、草刈り、土を耕し、空気を入れる。何とかして木を助けない。木にも頑張れ、というしかないな」

## もろはの刃

町の認定農業者でもある鈴木さん。負けてはいられません。

「この一帯は、流川のはんらん原なんだ。霜や水の被害にもあうけど、よそとは比べものにならないほど土が肥えている。だからいい作物もとれる。うーん、もろはの刃だな。それに、私たちはこの場所を離れるわけにはいかないんだ。しょげている暇はない。生活がかかっている。一生懸命なんだ。湛水防除というすばらしい施設があるのだから、二度とこういふ災害が起きないよう、町にも最善を尽くしてもらいたいなあ」

## 農作物への被害



稲が見えなくなるほど水没した水田。水につかった葉が茶色に変色し、息たえだえのモモ。しなびてしまったゴボウ。収穫期を目前にしながら全滅したハウスメロン。今回の豪雨による農業被害は深刻です。

八月二十八日から九月二日にかけて農林課などが行った被害調査によると、水稲が二十・六畝、野菜が六畝、そして果樹が五十七畝で、被害総面積は七十三畝。被害総額は四十九万七千八百七十七円（いずれも九月八日現在）との集計速報が出ました。昭和六十一年の八・五水害に比べ、被害面積は十三・一畝も上回っています。

町では、災害資金の借入者に対する利子助成、農作物の病害虫防除、樹勢回復のための土壌改良剤などの共同購入、樹園地の改植など、国や県の補助事業をも活用して、農家を応援するに当たっています。

# 浸水



(川内・六百地) 鈴木 政男さん

「畑は水の深さやつかっていた時間にもよるけど、田んぼは四割、ひよっとすると二割まで収量が落ちるかもしれないなあ。あきらめるしかないんだろうなあ」と話すのは鈴木政男さん。

自宅も床下が水につかりました。

川内地区に自主避難の知らせが伝わったのは、三十日の早朝。

「うちは、床が高いからこれだけで済んだんと思う。洪水防除で排水できなかった水がまわってきたんだ。もつとも洪水防除は、五、六本の川の水を排水しなくちゃならない。あの雨量と水量では、あふれてしまうのかもしれないことなのかもしれない。でも、今後のこともあるから、施設の充実強化と堤防の危険箇所点検、補修は早めにお願したいものだ」

## 水のありがたさ

これまで、鈴木さんの家では、井戸水をくみあげていました。でも、もう使えなくなってしまうため、町の上水道をひきました。

「家のお風呂には、三十日から三日まで入れませんでした。避難所から戻ってから、一日から四日までは親戚の家でもらい湯をしていました。飲み水なども集会所からもらって使っていました。小さな孫たちがいるから、水では苦労しましたね。四日に、ようやく水道の仮工事が終わり、家のお風呂に入ることができて、久しぶりにほっとしました。今回の大雨では、水のありがたさがよくわかりましたよ」と静子さん。

## いろいろなこと

「消防団員の中には、家財道具一つ運び出せなかった人、避難区域に家があっても戻れなかった人がいます。家族が心配でも現場を離れられない。消防団の大変さを初めて味わいました」と長男で、団員の弘之さん。家族への思いと団員としての責任。葛藤。彼らの一生懸命さに守られた六日間。

決壊の恐れあり、との知らせを聞いたときの思いは、との問いに「涙がこぼれました」と静子さん。政男さんは「決壊予想場所とは、距離があっても、どうなるかわからない。また一からやり直した。家を建てて、畑を作って……。いろいろなことが頭に浮かんだなあ」

## 公共施設・道路・河川



公共施設では、大枝洪水防除施設と徳江浄水場が浸水しました。土砂崩れは、黒道が二路線で二か所、明道が一〇二七号など五路線で七か所、林道が南半田赤坂線など四路線で十一か所、また、高城山層と内谷東地区でも発生しました。一方、阿武隈川堤防の亀裂、ろう水、濁川と牛次川堤防の一部崩落など、河川の堤防も被害が続出しました。特に、阿武隈川と濁川との合流付近の新製地区では、二百五十坪にわたって亀裂が生じ、決壊寸前となって緊急状態が続きました。

町では、農作業で使用する町道については、九月四日から復旧工事を開始しました。また、建設省による阿武隈川堤防の本格的な補強工事は、土地買収、物件補償などの契約が済み次第行われます。



(徳江・前原) 蓬田 正敏さん

## 浸水

「家も、田畑も、みんな水につかってしまった」

徳江前原地区の蓬田正敏さんは、そう言っただけで、ふっと遠くを見やりました。

「最初に水が来たのは二十七日。蔵の米を全部トラックに積んで、親戚の家に運んだんだ。二十八日には雨が上がったから持って帰ってきたら、また雨。二十九日に、もう一度運び直したよ」

前原地区を二回目の水が襲ったのは、二十九日の午後八時。そして三十日午前

三時ごろには床下へ水が入り始めました。「日が変わったばかりの真夜中、この地区の水が急に増えて、消防団のみんなが畳を上げたり、家財道具を二階に運んでくれたりした。三人家族だから何せ手が足りない。本当にありがたかった」  
そして徳江南部公民館へ避難。

「この地区は、これまでも何回か水の被害にはあつて、避難したのは初めてだ。避難所暮らしは一晩だけだったし、この屋敷内の顔見知りの人ばかりだったから、少しは心強かった。それに町内会の人たちにもよくしてもらったし。でも、あそこでの生活が長引くと大変だな、と思うよ」

### 忙しい

水が引き、自宅に戻った蓬田さん家族は、目がまわるほどの忙しさです。水につかった家財道具や畳、ふとん、農業資材の処分、そして後片付け。横浜に嫁いだ娘さんも心配で駆けつけました。

「泥水に浸かった物は、いくら洗っても臭いが取れないんです。処分するしかないですね。お金を払って買そろえた物ばかりだから、もったいなくって」と、ナミ子さん。

### 新鮮な野菜

「いつになつたら畳の上で寝られるんだらう。当分は、この有様なんだらうな。田んぼの稲も花とどきだったからもうダメだろうし、畑も水につかってしまつたから、ナスもキュウリも全滅だ。経済的なことも心配だし、衛生面での心配もある。その他にも心配ごとはいろいろある。それにしても、佐久間川の工事を早く完成させてもらいたいもんだなあ。」

えつ、今、欲しいもの？ 新鮮な野菜が食べたい。今日まで口にした野菜はジャガイモだけなんだ」

### 住宅への浸水



今回の豪雨で、床上浸水の被害にあつた世帯は八世帯、二十人。床下浸水の被害にあつた世帯は十七世帯、六十九人でした。浸水の被害にあつた人々には、それぞれの地域のみなさんによる炊き出しはもちろん、町と県庁災害基金からの見舞金、日本赤十字社からの毛布、歯ブラシやタオルなどの日用品が支給されました。一方、町では、水がひいた後の消毒剤の配布、井戸水検査、ごみの収集なども行うとともに、町民健康、固定資産税、国民健康保険料の減免措置も実施する条例案を九月議会に提出しました。

また、消防団、町建設業協会や町管工事組合、電気関係業者などの救援団体が、水につかった家財道具の運び出しや排水など、さまざまな活動協力をしました。

# 炊き出し



大枝婦人会長 鈴木 洋子さん

「活性化センターへの自主避難と同時に、炊き出しが始まりました。日赤奉仕団の炊き出し訓練には参加していましたが、まさか私たちがその体験をするとは思ってもいないことでした」というのは大枝婦人会長の鈴木洋子さんです。避難するまでの間に、大急ぎで家財道具をまとめたり、畳を上げたりして、避難所に移ったのは、午前九時ごろ。それから忙しい三日間が始まりました。「炊き出しのお手伝いは、活性化センターに着いてすぐに始めました。ただ、まさか避難しなくちゃならないとは思っていなかったの、びっくりしました。歳とった父母たちは、娘夫婦があずかってくれることになったので安心でしたが、家のことを気にしながらの炊き出しでしたから、ちよつと大変でした」

## 一千三百六十食

町では、三つの避難所を開設しましたが、川内地区六十七世帯、二百七十九人の避難場所となった活性化センターは規模が一番大きな避難所となりました。

「避難所が開設された三十日の夜の炊き出しは、二百八十食分にもなりましたが、その後は、一回当たり百六十食分ほどでしたが、一日の朝までに七回、一千三百六十食もの食事を用意しました」

## 心の温かさ

三十一日に避難勧告が解除され、自宅に戻った川内地区の住民ですが、自宅の飲料水が使えず、再び避難所に戻らざるをえませんでした。そこで、炊き出しについて相談をしました。

「活性化センターでの炊き出しは、それまで大枝地区の町内会長の奥さんや婦人会のみなさんに手伝っていただいていた。でも、川内以外の町内会のお母さんたちだつて家のことが心配なはずですから、川内地区の女性たちでやりましょう、と呼びかけました。そうしたら、婦人会の会員でない人や、小さな子供がいるお母さんまでもが、進んで手伝ってくれました。また、新鮮な野菜や卵、ワカメなどを持ってきてくれたりもして、みんな気が気じゃないはずなのに、一生懸命、炊き出しに協力してくれました。気持ち、暗くふさいでしまっているときだからこそ、人の心の温かさが身にしました」

## ボランティア



徳江南部公民館、徳江北部公民館、大枝の活性化センターに地区の避難所を開設した直後の二十日午前五時、炊き出し作業も始まりました。

川内地区の全住民の避難先となった活性化センターでは、九月一日の朝までに七回の炊き出しが行われ、一千三百六十人分の食事を作りました。炊き出しにあたった人数は延べ六十三人。前原地区の住民が避難した徳江南部と徳江北部の公民館でも、三十一日までに百五十五人分の食事を、また、町の女性職員も消防団員など八百五十人分の食事の世話をしました。

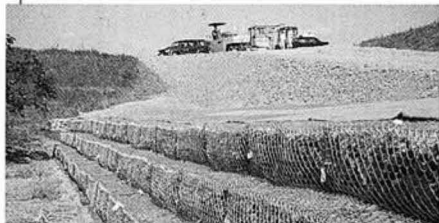
一方、延べ出動員八百五十人の町消防団員をはじめ、町建設業協会、町管工事組合、電気関係業者も、機材の提供も含め、水防活動や復旧作業に協力しました。



水がひいた後の後片付け。出されたごみの総量は18トンにも及びました（徳江前原地区）



●水につかって、葉が茶色になったモモの木の水毒。農家も木も懸命です（川内地区内）  
●佐藤重昭事に被害の状況を説明する富永町長（決壊が予想された堤防で④）  
●急ピッチで進められている堤防の補強工事（同⑤）

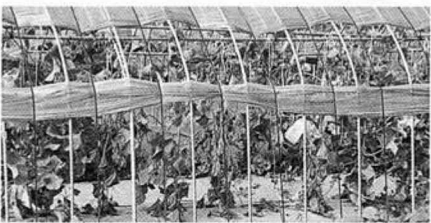


急激な増水と激しい雨の中、潜水防除の取水口でゴミを取り除く。この作業は緊急避難まで続きました（潜水防除施設）

# つめ跡、そして復旧



避難勧告が出された川内地区。30日から1日まで、不安な日々を過ごしました（活性化センター）

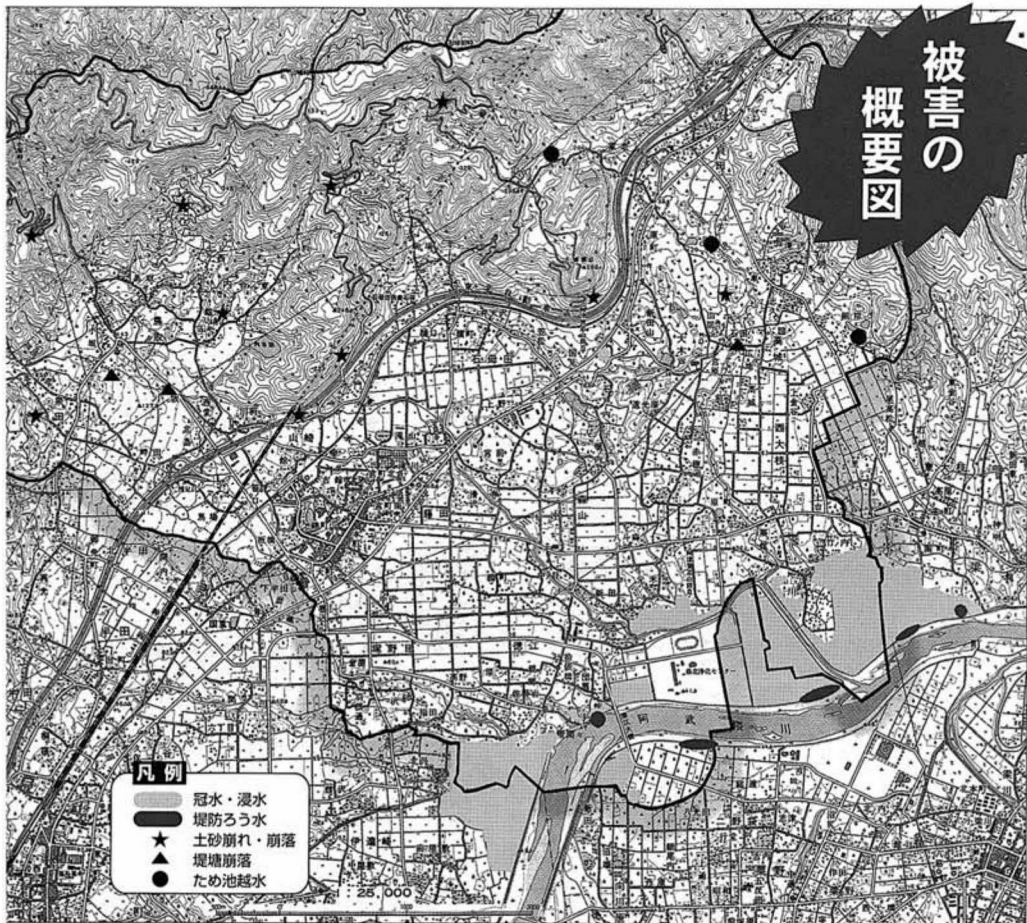


農業被害も深刻です。収穫を目の前にして、被害を受けたハウスメロン（川内地区内）



土砂崩れや法面の崩落なども各所で発生しました（山崎山）

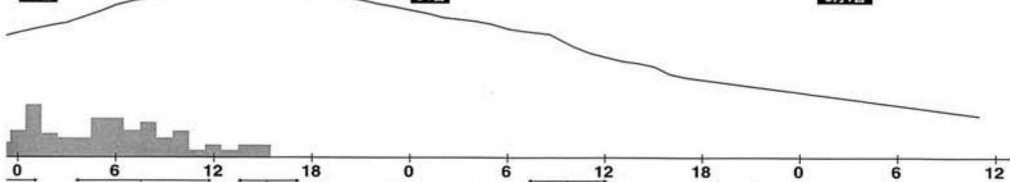
# 被害の概要図



30日

31日

9月1日



洪水情報誌

【被害状況】「冠水・浸水」被害は、被害者約1,000名、被害金額約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。被害は、被害者約1,000名、被害金額約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。

【被害者】被害者は、約1,000名に達した。被害金額は、約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。

【被害金額】被害金額は、約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。

【土砂崩れ・崩落】土砂崩れ・崩落は、約100箇所発生した。被害者は、約100名に達した。被害金額は、約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。

【堤防ろう水】堤防ろう水は、約10箇所発生した。被害者は、約100名に達した。被害金額は、約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。

【堤塘崩落】堤塘崩落は、約10箇所発生した。被害者は、約100名に達した。被害金額は、約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。

【ため池越水】ため池越水は、約10箇所発生した。被害者は、約100名に達した。被害金額は、約10億円に達した。また、土砂崩れ・崩落、堤防ろう水、堤塘崩落、ため池越水などの被害も発生した。





思い出は

あす  
未来への力



笑顔、水面に輝いて

中学生を大分・国見町へ

県北中の生徒二十九人が、八月四日から三泊四日の日程で、大分県国見町を訪ね、国見中の生徒たちとの交流やカヌー、キャンプなどを楽しんできました。この事業は、福島、大分、長崎の国見町が結んだ交流協定に基づいて行われました。

#### ● 新幹線と飛行機で

四日、福島を出発した一年生から三年生までの二十九人は、新幹線と飛行機で大分へ。町役場で歓迎を受けた後、国見ふるさと展示館や伊美別宮八幡社などを見学しました。

#### ● 交流、キャンプ

五日は、国見中を訪問して、生徒会の役員たちと意見交換をしました。グループに分かれて、お互いの町について話し合ったり、大分国見町に関するゲーム



夏休み。

中学生は大分で、小学生は静岡で、それぞれに交流をしてみました。

初めての場所で、たくさんの人と出会い、思い出をいっぱい作ってきた子供たち。思い出は、彼らの宝物、そして未来への力。

# 文 交通から始まった交流



小坂小の6年生は静岡へ

七月三十一日から一泊二日の日程で、西気賀小を訪ねた小坂小の6年生は、西気賀小が開いた「潮風の集い」に参加したり、浜名湖で泳いだりして、楽しい二日間を過ごしました。

すっかり友だちになった子供たちは、もう一度、冬に福島で会うことを約束し、お別れしてきました。

小坂小と静岡県西気賀小との交流は、戦争中に国見町に疎開していた細江町出身の石原敏さんの紹介で始まりました。

当初は手紙による交流でしたが、二年ほど前から子供たち同士の間で交流が始まりました。夏に小坂小の子供たちが西気賀小を、冬に西気賀小の子供たちが小坂小を訪ね、学校ぐるみの交流をしています。

をしたりして、親ほくを深めました。その後、キャンプ場に移動し、飯ごう炊さんやパーベキユーを、夜はキャンプファイアーを楽しみ、テントで一夜を過ごしました。

海で力又一体験  
六日は、町職員の指導で、海水浴をしたり、カヌーに乗った



りして、一日、海辺で遊びました。今回参加した子供たちが、最も楽しみにしていたのが海でのカヌー。遠浅の海で、パドルの握り方やこぎ方を教わった子供たちは、歓声を上げながら、水面をかつていました。大分の夏を満喫した子供たちは七日、日焼けした笑顔をおみやげに、元気に福島へ帰ってきました。

スキーにおいてよ  
今回初めて子供たちが大分国見町を訪問したことで、子供たち同士の間で交流も始まりました。冬には大分の子供たちを福島に招き、スキーなどを体験してもらおう計画も検討され始め、三つの国見町の交流事業は一層幅広いものへと発展しました。

## 交流の輪を広げたい



大内和香子さん

静岡県の西気賀小との交流も、今年で3回目を迎えます。私たち6年生15人と父兄の方々、先生方とで、7月31日と8月1日の2日間、西気賀小を訪ねました。学校のすぐ側の浜名湖で、警備艇や和船、カヌーに乗ったことと、ライフジャケットをつけて泳いだことが、初めての体験だったので、一番の思い出です。また、私たちが学校で作ったジャガイモで、カレーパーティーをしました。そのカレーの味は今でも忘れられません。冬には、西気賀小のみなさんが小坂小を訪ねます。一緒に雪で遊んだり、ゲームをしたりするのが楽しみです。これからも交流の輪を広げたいと思います。

## 温かい心の西気賀小



仲野 誠さん

新幹線乗り越し、やっと着いたのが、福島から約600km離れた静岡県の相模町。西気賀小に着くと、玄關の前で6年生全員が拍手で迎えてくれ、とても感激しました。潮風集いではお祭り風に遊んで、ポイントラリーをしました。紙飛行機や玉入れコーナーなどを回っているうち、すぐに友だちになることができました。「し、お、か、ぜ」の文字をみんな集めて、ぼくたちの班が1位になり、本当にうれしかったです。プールで文通相手の友人と平泳ぎの競争をしたことも、いい思い出です。

今度は、ぼくたちが西気賀小のみんなを温かく迎えたいです。



八月一日から香川県で開かれた高校スポーツの祭典、四国インターハイに出席した高橋和也(写真⑤)さんと大竹洋平(写真⑥)さんが、入賞報告に訪れました。高橋さんは砲丸投げで、大竹さんは男子八百球で、ともに二位に入賞しました。この成績は福島の高校陸上界で初めての快挙です。

汗、  
ほとばしって



ベストを更新する記録で、全国二位となりました。  
インターハイには二人のほか、硬式テニス団体の部に高橋利依さんが、ハンマー投げに齋藤篤志さんが、また、全国定時制通信制体育大会の軟式野球には菊地裕司さんが出場しました。

# 夏のスケッチ、いろいろ

梅雨が明けないまま、今年の夏が行きまです。  
そんな中でも、みんな精一杯に、日々を過ごしました。  
そのスケッチを四枚…。

気をつけて、夏休み



町の交通安全ふれあいキャンペーンが七月二十四日に行われました。今回は夏休み期間中の交通事故防止をドライバーに訴えるもので、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環です。桑折地区交通安全協会、町交通安全母の会、老人クラブなどの関係団体から約三十人が参加しました。

国道四号国児チエーン着脱所で行われたキャンペーンには福永町長も参加し、通りかかる車のドライバーに、母の会員手作りの「安全ほうし君」とチラシを手渡し、安全運転を呼びかけました。  
おかげで、夏休み期間中の交通事故は一件も発生しませんでした。

# おいしい「くにみ」はいかがですか

県内九十市町村の特産品を集めた「ふくしまビッグフェア」が、八月十一日から十二日までの二日間、福島競馬場で開かれました。

各市町村ごとに設置されたテントでは、担当者がそれぞれの町の特産品を紹介したり、販売

したりして、町の自慢をPR。また、会場ではアニメ上映、アイドル歌手やキャラクターショーなども繰り広げられ、親子連れなど、たくさんの方が訪れました。

国見はもちろん、果汁たっぷがり甘いモモ、シルバー人材センター会員の手作り竹炭、食べて安心、体に健康くわごジャムなど、盛りだくさんの品々で、町自慢を売り込んできました。



国見町商工会が主催し、町と県が後押しをする義経まつりが、八月十四日に開幕し、藤田商店街を舞台に趣向を凝らしたイベントが繰り広げられました。

義経まつりは、昨年引き続き三回目です。大型店に引き継ぎ三回目です。大店街に押し戻し、

気味の商店街に活気を取り戻し、子どもたちにも楽しい思い出を、と開かれた町づくり事業です。

十四日は、商店街通りが歩行者に開放され、流しそうめん、野菜・果物市、ピアガーデンなどの屋台が軒を並べる中、巨大だるま落とし大会や大道芸が行われました。夕方には盆踊りが行われ、やぐらの回りには大きな踊りの輪ができました。そして十五日の夜は、観月台公園で恒例の花火大会が行われ、町内

の人はもとよりお盆で帰省した人も大勢詰めかけ、夜空を彩る花火を楽しみました。

義経まつりの呼び物、武者行列は、九月二十三日です。

## 一夏の思い出

### 義経まつりが始まりました



## 保育所の子どもたち



中学生の  
保育体験



七月のある日、十人の女子中学生が保育所を訪れ、子供たちと一緒に過ごしました。これは中学校の体験学習の一つです。初めは距離をおいていた子供たちも、一緒に遊んだり、おやつを食べたりして、あっという間に仲良しに。

翌日、中学生からお手紙が届きました。よどきの子は、「という言葉をよく耳にしますが、届いたお手紙は、彼女たちの澄んだ心の一端をのぞかせるものでした。ほんの一部ですが紹介します。」

『先日はお世話になりました。私は、三歳から五歳までの子

供たちの部屋で過ごしました。とても楽しかったです。子供たちからいろいろな話を聞いて、小さい子供の、物の見方や考え、方のおもしろさを発見しました。また、先生のお話をよく聞く、お片付けもきちんとする、そういったことの一つ一つがしっか

り身につけている子供たちを見ながら、私たちがだらしないかもしれないな、と思ったりもしました。子供たちのかわいい笑顔を、いつまでも忘れずにいたいと思います。』

(藤田保育所長 木口絹子)



水鏡  
蛇に变身  
ききょうの前



お月見  
くにみの  
民話かるた

今月と来月は、町内を流れる滝川にまつわる伝説です。

◇ ◇  
むかし、平将門が乱を起こしたころのことです。朝廷は、武勇の誉れ高い依藤太を大将に任じ、東国へ向かわせました。ところが、

将門は並みの人間ではなく、身の丈二倍あまり、矢でも石でも傷つかぬ鉄身で、おまけに七つに分身でき、どれが本物か見分けがつかなくなったそうです。さあ、困ってしまつた依藤太は、将門の側女「桔梗の前」に近づきました。そうとは知らぬ彼女は、藤太の容姿と甘言に心奪われ、七人の中で

『こめかみ』が動くのが本物」と耳打ちしてしまいましたが、そして藤太は、首尾よく将門を討ち取り、乱を平定したのでした。

さて、その後、何の音沙汰もない藤太を「桔梗の前」は恨み、憎み、あちこちさまよい歩くうち、藤太と同じ読みの藤田・滝川のように写つた自分の顔が恐ろしい鬼女の顔になっているのを知つたのです。もはやこれまでと、彼女は川に身を投げました。すると、見る間に体がくねくねと伸び、大蛇に姿身し、山深い上流へ上つていつたそうです。



# 北海道の農業を訪ねて ①

国見町農業委員会の委員、佐野一子さんと佐藤視さんの研修レポートです。



北海道の米作りと生産調整対策の実情はどうなっているのだろうか。それを確かめたくて、北海道を訪ねました。最初に訪ねたのは長沼町です。肥沃な土地を持つ長沼町は、米、野菜の生産と畜産が盛んな町です。人口は一万二千人、町の総面積百六十八平方キロのうち百十五平方キロが耕地面積の町です。水田が約八割を占め、残り二割が畑。専業農家は三百五十三戸、そして第一種兼業農家は六百戸です。農家の平均耕地面積が十五ヘクタール、農業所得が四百八十万円ほどです。

## 国見町では…

町の総耕地面積は1,061ha。このうち、水田が557ha、畑が133ha、樹園地が371haとなっています。また、専業農家は172戸で、専業と兼業の農家全体の16%を占めています。ちなみに町の第一種兼業農家は212戸です。

## 指定野菜とは…

主な野菜の産地での生産と出荷の安定、消費地域での野菜価格の安定を図ることで、野菜生産農家の発展を目的に制定された野菜生産出荷安定法で定められた野菜です。キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、ほうれんそう、レタスの12品目があります。

考えあぐねている現実もあります。

✦ 転作を余儀なくされた農家は、野菜作りをしています。玉ねぎ、長ネギ、ニンジン、ジャガイモは、指定野菜産地となりまして。また、施設栽培ではトマトを導入しています。「野菜価格の激しい変動とコスト削減、そして大型機械の代価返済が課題です。それぞれの土地に合った農業をすることが大切なのです」と町の担当者。一方、「農業振興と併せて、温泉やスキー場、ゴルフ場とオートキャンプ場など、町営の娯楽保養施設の建設にも力を入れ、多くの人たちに利用していただいています」とも話していました。

(次号へ続く)

献血でひとまちくらしにおもいやり

9月30日は  
国見町の献血の日です

# 保健だより

保健福祉課 保健増進係 ☎(585)2783

国見製菓前……………午前9時～午前11時30分  
大岩機器工業所国見事業所…正午～午後1時  
沢屋酒店前……………午後2時30分～午後5時

※成分献血は検査を含め約1時間程度かかります。ご協力くださる方は、あらかじめお知らせください。

### \*\*\* 3 歳 児 健 診 \*\*\*

| 該 当 幼 児             | 実 施 日     | 受 付 時 間       | 場 所               |
|---------------------|-----------|---------------|-------------------|
| 平成7年5月～<br>7月生まれの幼児 | 11月17日(火) | 午後1時15分～1時45分 | 観月台文化センター<br>大研修室 |

☆健診票は後日郵送いたします。

☆内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査を実施します。

☆母子手帳を忘れずに。

### \*\*\* 乳 児 健 診 \*\*\*

| 該 当 乳 児                              | 実 施 日     | 受 付 時 間      | 場 所               |
|--------------------------------------|-----------|--------------|-------------------|
| 3か月児(平成10年7月生まれ)<br>9か月児(平成10年1月生まれ) | 11月19日(木) | 午後1時30分～午後2時 | 観月台文化センター<br>第1和室 |

☆医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、家族計画などについて。

☆母子手帳を忘れずに。

## 10月は食生活改善普及月間です

現代は、飽食の時代といわれ、好きなものを好きなだけ食べることができます。その結果、カロリーのとり過ぎから肥満となってしまう人が増えてきました。肥満は、さまざまな病気を引き起こします。心臓病、脳卒中などの生活習慣病は、毎日の食生活ととても関係の深い病気です。もう一度、あなたの食生活を見直してみましょう。

ポイントは3つ—— **食べ過ぎない 動物性脂肪、塩分を取り過ぎない もっとカルシウムを**

### 町の食生活改善推進員をご存じですか

母子保健推進員の6人が、食生活改善推進員となって食生活の改善、普及に取り組んでいます。年7回ほどの研修に参加したり、育児教室での離乳食の試食作りや指導時のお手伝いをしたり、また、冬期間には受け持ち地区での調理実習をしたりしています。

- ・藤田地区…奥山美津子さん、斎藤美知子さん
- ・小坂地区…八巻 結子さん
- ・森江野地区…八巻イチ子さん
- ・大木戸地区…渋谷 明子さん
- ・大校地区…瀬戸ユキ子さん



# いんぷお め～しよん

## 募集

### 農業・農林行政への提言

福島県東北農林事務所では、うつくしま夢づくり助成事業の一環として、次の意見を募集しています。

#### ① 農業と農村の活性化（レビジョン）

▼テーマ：農業と農村の活性化の提言▼応募期限：十月三十一日（土）まで▼応募資格：東北地域に在住、在勤している方。または出身者で十五歳以上の方▼応募方法：町の農林課に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、自分の提言を具体的に記載した原稿を同封すること。原稿はA四判の四百字詰め原稿用紙、またはA四判ワープロ用紙を使用すること。字数は問いません。また、図などの添付も可▼賞：◇優秀賞（十万円分の旅行券）◇金賞（五万円分の旅行券）◇銀賞（三万円分の旅行券）◇佳作（一万円分の商品券）

#### ② 農林行政に対する提言

▼テーマ：県の農林行政に対する意見や提言を募集し

ます。東北農林事務所長が直接お受けします▼応募期限：十二月三十一日（木）まで▼応募資格：東北地区に在住、または在勤している方▼応募方法：町の農林課にある応募用紙に意見や提案を記入し、切手をはらずに直接東北農林事務所へ郵送してください。

#### ★送付先・問い合わせ

〒960-1867-0

福島市杉妻町5-75

福島県東北農林事務所

①：☎(521)7661

②：☎(521)7712

### 福島県

#### 建設技術学院学生

建設技術学院は、中堅建設技術者の養成や各企業の在職者の再教育訓練のための教育機関です。

▼募集期間：平成十一年九月一日から平成十二年二月十三日まで▼応募資格：◇十八歳から二十五歳までの男子◇高校卒業の資格を有する者（卒業見込みの者も含む）▼試験：面接、作文、国語、数学▼教育科目：測量工学、コンピューター工学、土質工学、工事管理▼

教育期間：一年間  
★問い合わせ

福島県建設技術学院

☎0243(25)0530

### 県立

#### テクノカレッジ

県立高等技術専門学校（テクノカレッジ）では、学生を募集します。テクノカレッジは、すぐれた講師陣と最新の設備を備え、少人数制による密度の濃い教育をしています。

▼募集期間：◇推薦 十月一日から九日まで◇一般

十一月一日から十九日まで

▼試験日：◇推薦 十月二十日◇一般 十一月三十日

#### ★問い合わせ

福島県 職業能力開発課

☎(521)7299

### 自衛官募集案内

防衛大学校生と貸費生、自衛官などの応募期限をお知らせします。

▼防衛大学校生・防衛医科大学校生▼資格：高校卒で二十一歳未満の者▼募集期間：九月十六日から十月十四日まで（看護学生）▼

## 西分署 だより

### 普通救命講習会を 開きます

これまで、伊達地方消防組合では、いざというとき役立つ、救急応急手当講習会を開催してきましたが、今年度は、このほかに「普通救命講習」も開催することになりました。

講習内容は、心肺そ生法や止血法などが中心となり、講習時間は三時間ほどになります。開催場所は中央消防署と西分署など各分署で行い、時期は九月から実施する予定です。

この機会に、救命に欠かせない基礎的な応急手当法を身に付けてください。

#### ★問い合わせ

消防本部 救急係

☎(575)4101

## 町民大運動会

今年も町民大運動会を行います。お子さんから  
お年寄りまで、たくさんの方々の参加をお待ちし  
ています。

- 日時…10月10日  
(体育の日 雨の場合は11日に順延)  
午前8時から受付
- 場所…上野台運動公園 総合運動場

★問い合わせ  
生涯学習課 体育係  
(585)2676



## 義経まっりの武者行列

「義経まっり」のメイン行事、武者行列が藤田  
商店街を練り歩きます。



9月23日(祝)  
★歩行者天国 午前10時  
★出陣式 午後2時

## うつくしま

### 未来博

資格：高校卒で二十二歳未  
満の女子▼募集期間：九月  
十六日から十月十三日まで  
〔自衛隊生徒〕▼資格：中  
学卒で十七歳未満の男子▼  
募集期間：十一月四日から  
平成十一年一月四日まで  
〔資費学生〕▼資格：歯学  
部、理工学部の学生及び大  
学院生▼募集期間：十二月  
一日から平成十一年一月二  
十九日まで〔個人自衛官(看  
護)〕▼資格：三十三歳未  
満の女子(免許有、二十三歳  
未満の女子(免許無)▼募  
集期間：十月十九日から十  
一月九日まで。

★問い合わせ  
福島募集案内所

☎(545)7995

うつくしま未来博は、二  
十一世紀が始まる平成十三  
年七月七日から九月三十日  
までの間、須賀川市で開催  
されます。テーマは「美しい  
空間、美しい時間」です。  
未来博は、みなさんの参  
加で、楽しさと感動でいっ  
ぱいの博覧会にしたいと思  
います。そのために、みな  
さんに参加、交流、体験す  
るプログラムを数多く用意  
したいと考えています。

そこで、未来博協會では  
「未来博ではこんなこと  
を」というアイデアやこ  
意見を募集しています。

★応募・問い合わせ

うつくしま未来博協會

☎(521)97993  
FAX(521)97993

## 県民

### アドバイザー

福島県では、「ふくしま新  
世紀プラン」に代わる新し  
い長期総合計画を策定し  
ます。長期計画の策定期間中、  
ご意見をうかがう県民アド  
バイザーを募集します。

▼応募資格：県内在住の十  
八歳以上の方▼応募方法：  
「これからの福島県に期待  
するもの」というテーマに  
ついて、四百字程度のリポ  
ート(様式自由)を提出し  
てください。住所、氏名、  
年齢、電話番号を記入して  
ください▼募集期間：九月

## 催し

### 秋の行政相談

十月十一日から十月十七  
日までの一週間は「秋の行  
政相談週間」です。総務庁  
国や県、市町村、公団や公  
庫、N.T.T.、J.R.などの仕  
事に関する困りごとや要  
望を聞き、その解決のお手  
伝いをします。

国見町の行政相談委員は  
内池和子さん(☎585・  
3320)で、通常、自宅  
で相談に応じていますが、  
秋の相談週間の期間中、特  
設相談所を開設します。気  
軽にご相談ください。  
【特設行政相談所】▼日時

三十日まで▼意見照会の方  
法・期間：応募した方は、  
全員県民アドバイザーとさ  
せていただきます。資料を  
送付しますから、意見照会  
やアンケートにお答えくだ  
さい。また、県北地方振興  
局で開催する地域会議(年  
二回程度)で意見を述べて  
いただきます。期間は平成  
十二年度まで。

★問い合わせ

☎(521)7109

福島県 企画調整課

## ご隠居の年金よもやま話

### ～死亡一時金の巻～



梅雨明け宣言がないままに立秋。そんな  
な雨空をご隠居が眺めていると…。

和 吉：こんにちは、ご隠居。今日もいいくの天気ですね。

ご隠居：おやおや、和吉。大学はどうしたんだい。

和 吉：大学は夏休み。アルバイトの途中なんです。聞きたい  
ことがあって寄ったんだけど…。あのね、学生結婚した  
大学の先輩が病気で亡くなったの。遺族基礎年金はいた  
だけなんですか。

ご隠居：おいくつだったんだい。お子はいたのかい。学生だから

国民年金だね。保険料は納めていたんだろうねえ。  
和 吉：24歳で、子供はいないの。しっかりした先輩だったから、  
保険料はきちんと納めていたそうだよ。

ご隠居：そうすると、亡くなった方は保険料を納めた期間が4年  
ほどだし、お子がないし、遺族基礎年金は該当しない  
ねえ。でも、奥さんは死亡一時金がいただけるはずじゃよ。  
死亡一時金というのはね、国民年金に加入していて、保  
険料を3年以上納めた人が何の年金も受けずに亡くなっ  
たときに、遺族に支給される国民年金の独自給付なんじ  
ゃよ。手続きはお役所じゃ。奥さんに教えてお上げよ。  
和 吉：うん。どうもありがとう。じゃ、バイトに戻るね。

★問い合わせ 住民課年金係 ☎(585)2179

## ドック検診で健康チェック

国保加入者を対象に人間ドックと脳ドックを実施します。受診料の補助もありますから、この機会にぜひお受けください。

- 対象者…国保加入者で35歳以上70歳未満の方
- 受け付け期間…10月1日から7日まで(土・日曜日を除く)
- 申し込み場所…保健福祉課

★問い合わせ 保健福祉課 国保係 ☎(585)2785

| 受診区分 | 入院人間ドック          |            | 日帰り人間ドック   |
|------|------------------|------------|------------|
|      | 人間ドック・脳ドック       | 人間ドック      |            |
| 自己負担 | 初めての方            | 初めての方      | 初めての方      |
|      | 男性 18,300円       | 男性 6,300円  | 男性 3,200円  |
|      | 女性 18,500円       | 女性 6,500円  | 女性 3,400円  |
|      | 2回以上の方           | 2回以上の方     | 2回以上の方     |
|      | 男性 44,000円       | 男性 32,000円 | 男性 16,000円 |
|      | 女性 45,000円       | 女性 33,000円 | 女性 17,000円 |
| 受付人数 | 30人              | 50人        | 80人        |
| 実施期間 | 平成10年10月～平成11年2月 |            | 平成11年1月～3月 |
| 実施機関 | 公立藤田総合病院         |            |            |

\*申し込み手続きは、保険証、印鑑を持参し、本人または家族が行ってください。

…十月十七日(土) 午前十時から午後三時まで▼場所…観月台文化センター  
★問い合わせ  
総務課 庶務係  
☎(585)2112

## 司法書士相談会

十月一日は法の日です。福島県司法書士会では、無料法律相談会を開きます。▼期間…十月一日(木)～三日(土)まで▼時間…

午前十時から午後五時まで  
▼相談内容…不動産の相続、売買、保存などの登記、会社などの登記、役員変更、増資などの登記、借地借家法に基づき手続き、供託の手続き、家事審判手続き、訴訟手続きなど▼相談員…県司法書士会会員▼場所…福島県司法書士会館(福島市新浜町6の28)  
★問い合わせ  
福島県司法書士会  
☎(534)7502

## お知らせ

### みんなで街を点検

十月十四日から二十日までの一週間は、違反建築防止週間です。これは、建設省と福島県が、市町村の協力を得ながら行うもので、良好な市街地環境の形成されるよう、また個々の建築物の安全性が確保されるようにと実施されるものです。十四日には、建築活動の盛んな地区を重点に、一斉公開建築パトロールを行います。

### ★問い合わせ

都市整備課 都市整備係  
☎(585)2985

### 町の農振計画を、見直します

町では、農地の有効利用と農業振興施策を進めるため、農業振興地域の整備に関する法律第八条第四項の規定に基づき、平成四年五月に国見農業振興地域整備計画を策定し、各種の施策を進めてきました。この計画は、五年ごとに見直すことになっており、今回の見直し作業は、今年度から来年度にかけて実施

することになっていきます。計画の見直し実施中及び計画変更後一年間は、農振計画の変更などができなくなりますので、当面、農振農用地内での農地転用などの計画がある方は、次のとおり担当課で相談ください。

▼期限…九月三十日(水)まで▼相談先…農林課農林振興係  
★問い合わせ先  
農林課 農林振興係  
☎(585)2986

### 住宅・土地統計調査

この調査は、住宅と土地に関する大規模で最も基本的な調査です。昭和二十三年以来、五年おきに行われてきた住宅統計調査の内容を充実させて実施します。この調査は、暮らしやすい住宅、ゆとりある生活環境を実現するための重要な資料となります。調査は十

### 10月の心配ごと相談

|        |           |
|--------|-----------|
| 5日(閉)  | 谷津 智恵さん   |
|        | 松浦 慧一さん   |
| 15日(閉) | 三瓶 茂さん    |
|        | 小西 相子さん   |
| 26日(閉) | 西久間 巖さん   |
|        | 山崎 ヤイさん   |
| ●場所    | 役場(2階)相談室 |
| ●時間    | 午前9時～正午   |

### 人口と世帯

|    |             |
|----|-------------|
| 人口 | 8月1日現在      |
| 男  | 5,513人(-4)  |
| 女  | 5,901人(+2)  |
| 計  | 11,414人(-2) |
| 出生 | 2人          |
| 死亡 | 8人          |
| 転入 | 19人         |
| 転出 | 15人         |
| 世帯 | 3,134世帯(+6) |

### 塚野目ロードレース大会

日時…10月18日(日) 午前8時  
塚野目集会所集合  
申込締切…10月13日(火)  
★問い合わせ・申込先  
大会事務局(寺島)  
(585)4865



月一日現在で、全国の約百万世帯を対象に行われ、国見町も対象地域となっています。調査対象世帯(約百世帯)には、九月二十三日ごろから福島県知事が任命した調査員が、調査票を持ってうかがいます。ご協力ください。  
★問い合わせ  
企画商工課 企画商工係  
☎(585)2927

### 結婚おめでとう

菊池 章さん  
(小濱玉与さん)  
古山壽男さん  
(山崎北千 麗華さん)

### 誕生おめでとう

お子さん 保護者  
國分陽生 政隆さん(母田四五手 唯、昭美さん(中野) 板橋淳希、敏光、ゆり子、(都小池翔太、仁、美穂さん(町北 大津和夫、連也、山紀)第3)

### おくやま申し上げます

鎌田 智さん(滝山)  
阿部 一夫さん(宮東)  
渡谷 ヨシさん(光明寺)  
佐藤 勝樹さん(耕谷)  
玉手ミツエさん(中部)  
黒田 唯義さん(光明寺)  
星野トシ子さん(京田下)  
小林トキさん(原町)  
築瀬 喜彦さん(宮町南)  
村上アキエさん(並柳)  
松浦 サツ子さん(第4)  
安藤 キンさん(前田)  
(8月20日届出分まで)



# 生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課  
(観月台文化センター)  
☎(585)2676 FAX(585)2707

## ふるさとの 民話を聞く

〈合同学習会〉

阿津賀志学級、成人学級、く  
にみ女性教室の合同学習会が、  
八月六日に観月台文化センター  
で開かれました。

講師は、年間三百回以上も保  
育所や小中学校、公民館などで  
昔話を語り聞かせている、梁川  
町の横山幸子さんです。ユーモ  
アあふれる所作と話術の巧みさ  
に引き込まれての一時三十分  
でした。

横山さんは、身近な青少年の  
言動と昔話を対比させた、いく  
つかのたとえ話から、現在家庭  
に欠けている、親から子へ、祖



父母から孫への語りかけの大切  
さを話した後、昔話の中に出て  
くる人物や動物の言動を通して  
物の見方、あるいは考え方を培  
うことで、子どもに素直に受け  
取ってもらえるのだということ

を強調しました。

最後に、広島が、被爆  
した悲惨な人々を見て、うら  
みに、柔和な表情が徐々に険しい  
表情に変わっていく話には、深く  
考えさせられました。この日は  
広島がの平和記念日でした。

## ダイナミックが

### 二連覇

〈ナイター野球大会〉



第三回町長杯ナイター野球大  
会は、七月十五日から三十一日  
まで、上野台運動公園総合運動  
場で行われました。

参加した六チームは、熱戦を  
繰り広げ、ダイナミックが昨年  
に続き二連覇を達成しました。

なお、成績は次のとおりです。  
▼準優勝：国見ジャイアンツ  
▼第三位：国見町役場

## 新しい本が届きました

文化センター図書室

### 【一般図書】

- 見えざるユダヤ人 (白 梓陽)
- 世界はつづらを持っている (富山 晋夫)
- 生きることはすいてこと (河合集雄他)
- 自立する者後のために (高見淳たか子)
- 絶対音感 (鹿嶋 葉月)
- 阿部定正伝 (堀/内雅一)
- 三本の矢 (神 東行)
- 珍妃の井戸 (浅田 次郎)
- 兄弟 (なかにし礼)
- みんなの秘密 (林 真理子)

### 【児童図書】

- いのちの木 (バーバラ・パッシュ)
- かえるの王さま (ビネッチ・シュレーダー)
- 熊ねこサンゴロウの冒険 (竹下 文子)
- イヌのいいぶんネコのいいわけ (なかのひろみ)
- 花仙人 (松岡 享子)
- 植物あそび (ながたはるみ)
- まよなかの魔女のひみつ (岡田 淳)
- ラベンダーのくつ (アリソン・アトリー)
- 船のついでわ (小野かおる)
- まるまる (中辻 悦子)

◇貸出しは5冊まで、期間は2週間です。  
◇返すときは、登録番号を書いてカウンターへ。

## キャンプで 思い出づくり

〈少年仲間づくり教室〉

少年仲間づくり教室のキャン  
プ研修は、蔵王連峰の南麓に広  
がる国立南蔵王青年野営場で七  
月二十八、二十九日に行われま  
した。

この教室は小学四年生以上を  
対象に、学校や学年を越えた仲  
間づくりをしながら、人と人と  
のふれあいを大切にすることで、  
児童の健全育成を目指す活動を  
しています。今年はこのキャン  
プに四十七人の教室生が参加し  
ました。

二日間とも雨のため、ハイキ  
ングはできませんでしたが、全

員で力を合わせて、テント設営  
や炊飯活動、キャンプファイヤ  
ーや蔵王野鳥の森の見学など、  
夏休みの楽しい思い出をたくさ  
んつくりました。



11月8日(日)

「加藤登紀子コンサート」

18:30 4,000円

前売は10月12日から

11月28日(出)

「森 和美 文化講演会」

13:30 無料



10月4日(日)

「篠笛の夕べ」

19:00 無料

(観月台公園水上ステージ)

11月16日(月)

「能、狂言の世界」

18:00 2,500円

12月6日(日)

国見ジャイアンツ結成30周年記念事業

「中畑 清 スポーツ講演会」

13:30 無料

問い合わせ ●●● 生涯学習課 文化振興係 ☎(585)2676

## カヌーに 挑戦



八月十一日、県北中学校のプールで、「カヌー体験教室」が実施され、少年仲間づくり教室生三十五人が参加しました。講師は、東和町職員で平成七年のふくしま国体で優勝した穂住孝さんと、福島大学でカヌー選手として活躍している吉田英記さんの二人です。カヌーが初めての教室生ばかりでしたが、講師の指導を真剣に聞きながら、思い思いにパドルをこぎ、楽しいひとときを過ごしました。

## すがすがしく 朝顔鑑賞会

〔阿津賀志学級〕  
阿津賀志学級の朝顔展鑑賞会

は八月六日、観月台文化セン

ターの体育館で行われました。種まきから天候不順で、開花が心配されましたが、いとおしく育てあげた、見事な七十数鉢が出品されました。また、鑑賞会には、一般の方々も鑑賞に訪れ、感慨ひとしおでした。これまで指導してくださった新井博先生から講評をいただき、金・銀・銅各賞の表彰を行い、来年に思いを抱きながら鑑賞会を閉じました。



## ソフトテニスが 優勝

〔県民スポーツ大会〕

第五十一回県民スポーツ大会は七月十九日、福島市を会場に開かれ、家庭バレーボール、壮年ソフトボールなど五種目に熱戦を繰り広げました。

国見町からは、四種目に出場日ごろの練習の成果を存分に発

揮し、それぞれの競技で健闘しました。このうち、町ソフトテニスクラブが初優勝を果たしました。



## 佐藤・徳江ペアが 優勝

〔町長杯バウンドテニス大会〕

八月二十三日、観月台文化センター体育館で、第七回町長杯バウンドテニス大会が開かれました。



## 新生活運動にご協力ください

- 結婚披露宴は簡素にし、会費制としましょう。会費は1万円以内とし、引出物は自粛しましょう。
- お見舞いは3000円以内とし、快気祝いは自粛しましょう。
- 香典は2000円以内とし、お返しは自粛しましょう。

—国見町新生活運動推進委員会—

大会には、町内のバウンドテニス愛好者三十人が出場し、男女又は女子によるペアを編成、予選リーグと決勝トーナメントに熱戦を繰り広げました。成績は次のとおりです。

▼優勝：佐藤洋子・徳江恵美子  
▼準優勝：鈴木孝雄・八島和子ペア  
▼第三位：仲野ミサヲ・本田幸吉ペア



## 笑

### い声がいつぱい

親月台文化センターの体育館で、町老人クラブ女性部の球技大会が開かれました。部員間の親睦を深めることが目的の大会で、体育館の中には、終始、笑顔と笑い声があふれていました。



## 国

### 見夢音頭のテープをいただきました

九月十一日、津軽ひろこさんが作詞作曲した「国見夢音頭」の初披露がありました。披露の前に、津軽さんから町にテープ百巻が贈られました。このテープは全町内会と小中学校、舞踊団体などに配布しましたので、利用の際はどうぞお申し出ください。



## 子

### ガモが誕生しました

親月台公園にすむアイガモの夫婦にヒナが誕生しました。これまで、なかなかヒナがえらぐにいた親ガモでしたから、やんちゃでこわいもの知らずのヒナたちに振り回されながらも、愛情一杯の子育てが続きます。



## 4

### 号線の拡幅に向けて



仙南・伊達国道4号整備促進協議会の総会が親月台文化センターで開かれ、県北と仙南の沿線6市町の代表が出席しました。会長に選出された富永町長は「国道4号の早期4車線化を関係機関に働きかけましょう」とあいさつ。

## ちいさな天気たち

天気よほう

森江野小 佐藤美希

晴れ

太陽がピカピカ

空も大空

みんなも暑そつだよ

雨がざあざあ

空も晴い

みんなつまんなそつだよ

かみなりがころころ

空も真つ暗

みんなもおおえてそつだよ

雪がぼろぼろ

空も真っ白

みんなも寒そつだよ

台風

空風がびゅつびゅつ

空もうすまいている

みんなもたいへんそつ

ほんとに天気ついろいろあるね

児童生徒立書 月に第30回 から

編集・発行/国見町 総務課

〒969-1792  
福島県伊達郡国見町大字藤田字  
一丁田二2の1

☎ 024-585-2111  
FAX024-585-2181